

## 長野県松本筑摩高等学校定時制課程 午前・午後部 平成23年度評価表

## I 教育目標

学校教育方針	中・長期目標
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1.知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨を目的とする。	「心あらたな学び直し」 「限られた時間を活かしての学び」 「働きながらの学び」 を願う人々の要望に応える教育活動を展開すること。

午前・午後部教育目標	中・長期目標
定時制の特色と単位制の趣旨とを活かして、様々な「学び直し」を願い、未来を拓こうとする生徒・保護者に添うとともに、地域に開かれた教育を行う。	定時制の特性を活かした単位制の充実を図るとともに、様々な実態把握に努めながら、生徒が個に応じた学力と社会的習慣とを身につけ、よりよい学校生活を送れるようにする。

## II 今年度重点目標に対する成果と今後の課題・改善策

評価値はA(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善策
1. 生徒一人ひとりの資質・能力の伸長 2. 自尊感情と思いやりの心の育成 3. 社会力の育成 4. 基礎学力定着のための授業改善 5. 教育課程の工夫・改善 6. 特別支援教育の充実		

## III 今年度の成果と今後の課題・改善策

評価値はA(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

	評価項目(重点目標)	評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善策
教育課程	○開講科目の充実	・工夫・改善に努め、生徒・保護者の願いを踏まえた講座の設定、および編成ができたか。		
学習指導	○基礎・基本の定着	・可能な限りの教科・講座で習熟度別授業を展開するなどして、基礎学力の定着に向けた指導ができたか。 ・生徒による授業評価を活用し、授業改善ができたか。		
	○個に即した指導	・必要とする学力を個に即して着けようとする指導ができたか。		
	○目指す人間像を共有した指導	・集会や生徒指導通信などを通じて、自尊感情を高めるための指導が継続してできたか。		

生徒指導	○一人の生徒に複数の教師の目を向けた指導	・生徒一人に担任だけでなく相談員、専門員、養護教諭、外部専門家など複数の教職員がかかわり、連携を図りつつ向きあうことができたか。		
	○学習環境の整理整頓と貴重品の自己管理	・教室内に私物等が放置されていないか。 ・貴重品について、自己管理ができるようになったか。		
特別支援教育	○外部専門機関と連携してSSTを導入する	・1年次生がクラスでコミュニケーションスキルを中心に学び、心地よい人間関係づくりの大切さを感じられたか。		
	○学校生活の様々な場面でのユニバーサルデザインの実践を提案する	・授業や日常の活動、行事などにおいて「見てわかる支援」を各教科や係に提案し、実践してもらえたか。		
	○個別の指導計画をたてチームで支援していく	・それぞれの年次での生徒や保護者の願いに寄り添い、計画をたて見直していかれたか。		
	○職員研修の企画、実践	・SSTの考え方や実践に繋がるヒント、福祉的制度の活用などの研修、特別支援教育研究会の研修報告などができたか。		
進路指導	○将来に対する明るい展望をもち、正しい職業観・勤労観を育成する。	・卒業後の将来を見通した進路の展望を持つことができたか。そのための進路ガイダンスを充実させたか。 ・進路希望を実現するための科目選択や履修指導ができたか。 ・個別面談、適性検査を通じて生徒一人ひとりに合わせた指導が行えたか。		
	○進学指導の充実	・大学・短大・専門学校の情報を適宜流し指導することによって、生徒各自に最適な進学先を選択させることができたか。 ・生徒自ら進路指導室の各種情報誌・情報端末の利用することで、主体的に進路を決定することができたか。 ・奨学制度を周知させることによって進学の可能性を広げることができたか。		

	○就職指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学習やホームルームの時間を通して就職に対する意識を高揚させることができたか。</li> <li>・進路実現に向けて講習、補習、面接指導ができたか。</li> <li>・各自に将来設計をさせることによって社会人としての自立を促すことができたか。</li> </ul>		
生徒 会 活 動	○委員会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの生徒が活動に参加できたか。</li> <li>・独自の企画を立てられたか。</li> </ul>		
	○部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの生徒が加入できたか。</li> <li>・取り組む内容が充実できたか。</li> <li>・発表や試合ができたか。</li> </ul>		
	○くれき野祭の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校に合ったスタイルを創り出せたか。</li> <li>・生徒の力で実行できたか。</li> </ul>		
地 域 と の 連 携	○公開授業・学校説明会の充実と社会人聴講生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業をさらに推進するとともに充実した学校説明会を行ったか。</li> <li>・地域や社会に開かれた学校作りを進めるとともに、社会人の学習機会拡大を企図した講座を設定し、生涯学習の場を提供できたか。</li> </ul>		
組 織 の 運 営	○単位制の一層の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「内規集」および「定時制ハンドブック」を全面的に見直すとともに、有効な活用ができたか。</li> </ul>		
	○校務分掌の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の分担は適正だったか。</li> <li>意見を総括する中で、協力体制を確立できたか。</li> </ul>		
研 修	○カウンセリング研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒などへの共通理解を持つことができたか。</li> <li>・上記生徒へ適切に対応するための研修ができたか。</li> </ul>		
	○授業法の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に関する研修の必要性を共有し、機会を設定したか。</li> <li>・校内授業公開を実施し、学習指導の研究に活用できたか。</li> </ul>		